

伊勢湾貧酸素情報（第7報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

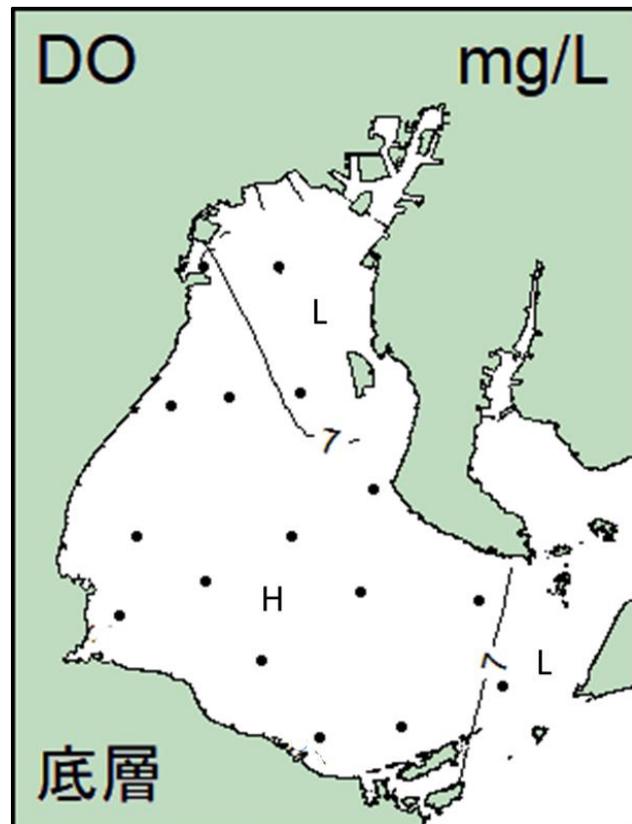
これまで伊勢湾の底層に形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅しました。今期については今後の大規模な貧酸素水塊の発生は無いものと考えられます。

12月10日の調査結果

12月10日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で14.8～16.5℃、10mで14.8～17.1℃、底層で15.0～18.2℃の範囲にあり、表層、10m及び底層ともに平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で7.3～8.4 mg/L、10mで7.0～8.2 mg/L、底層で6.6～7.9 mg/Lの範囲にあり、表層、10m及び底層ともに平年並みとなっていました。

今回の観測では、貧酸素水塊は消滅しており、上下層の海水の混合もかなり進んでいたことから、今期の大規模な貧酸素水塊の発生は終息したものとみられます。



底層貧酸素水塊分布図